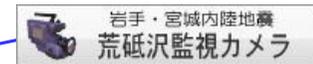
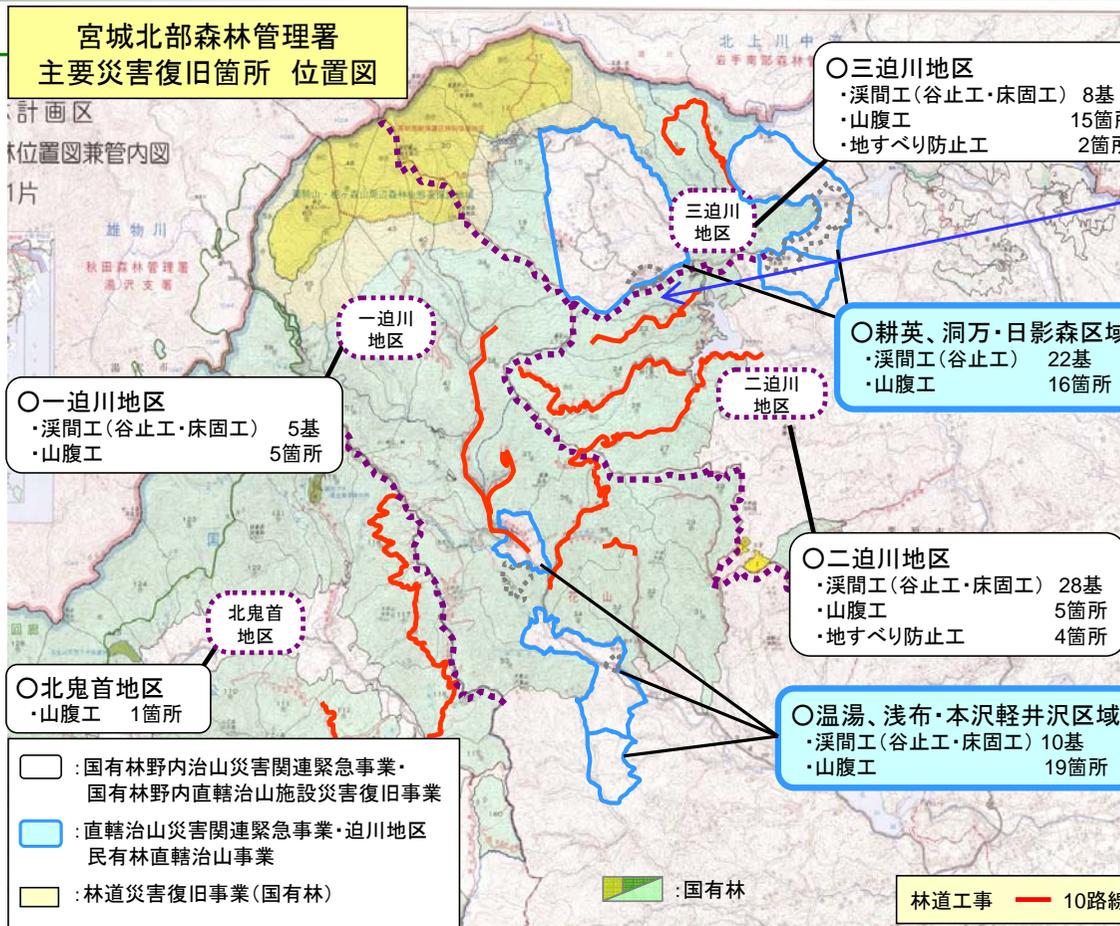


概要

平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所のうち、平成23年度末までに国有林治山事業で溪間工41基、山腹工26箇所、地すべり対策工6箇所、民有林直轄治山事業で溪間工32基、山腹工35箇所、林道災害復旧事業で10路線を整備しました。平成24年度は、前年度からの継続箇所を含め、国有林治山事業で6件、民有林治山事業で10件の工事をを行います。



岩手・宮城内陸地震の記録
2008年6月14日 午前8時43分頃発生
地震の規模 M7.2
最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
震源地 岩手県内陸南部
地震の深さ 約8km
山腹崩壊箇所 1,062箇所(宮城県内、H20東北森林管理局調べ)



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。
(http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/)



平成24年7月17日撮影

被災地の復旧状況 栗駒耕英地区(冷沢)

本施工地は、栗原市栗駒沼倉耕英南地内に位置します。地震によって冷沢では溪流の両岸が約1kmにわたって大規模に崩壊し、大量の不安定土砂や倒木が沢や崩壊地内に堆積しました。冷沢付近の人家や市道、また下流域を保全するため、平成20年度から民有林直轄治山事業を実施しています。平成23年度までに谷止工4基、山腹工 約17.5ha(吹付のり枠工、グラウンドアンカー工、のり切工ほか)を実施しました。



平成24年6月撮影



平成24年6月撮影

総合防災訓練・パネル展示の様子

6月17日に開催された栗原市総合防災訓練において、岩手・宮城内陸地震による山地災害と復旧対策の進捗状況を紹介するパネル等の展示を行い、多くの市民の方々に見ていただきました。



平成24年度 工事施行箇所

復旧工事を開始しました

- 1 温湯 I (H24) [準備工]
  - ・6月27日に着手しました。



- 2 浅布 I 小川原 (H24) [準備工]
  - ・6月20日に着手しました。



- 3 浅布 II 小川原 (H24) [準備工]
  - ・6月22日に着手しました。



復旧工事を実行中です

- 6 河原小屋沢 II [溪間工(鋼製枠谷止工)]

平成24年7月撮影

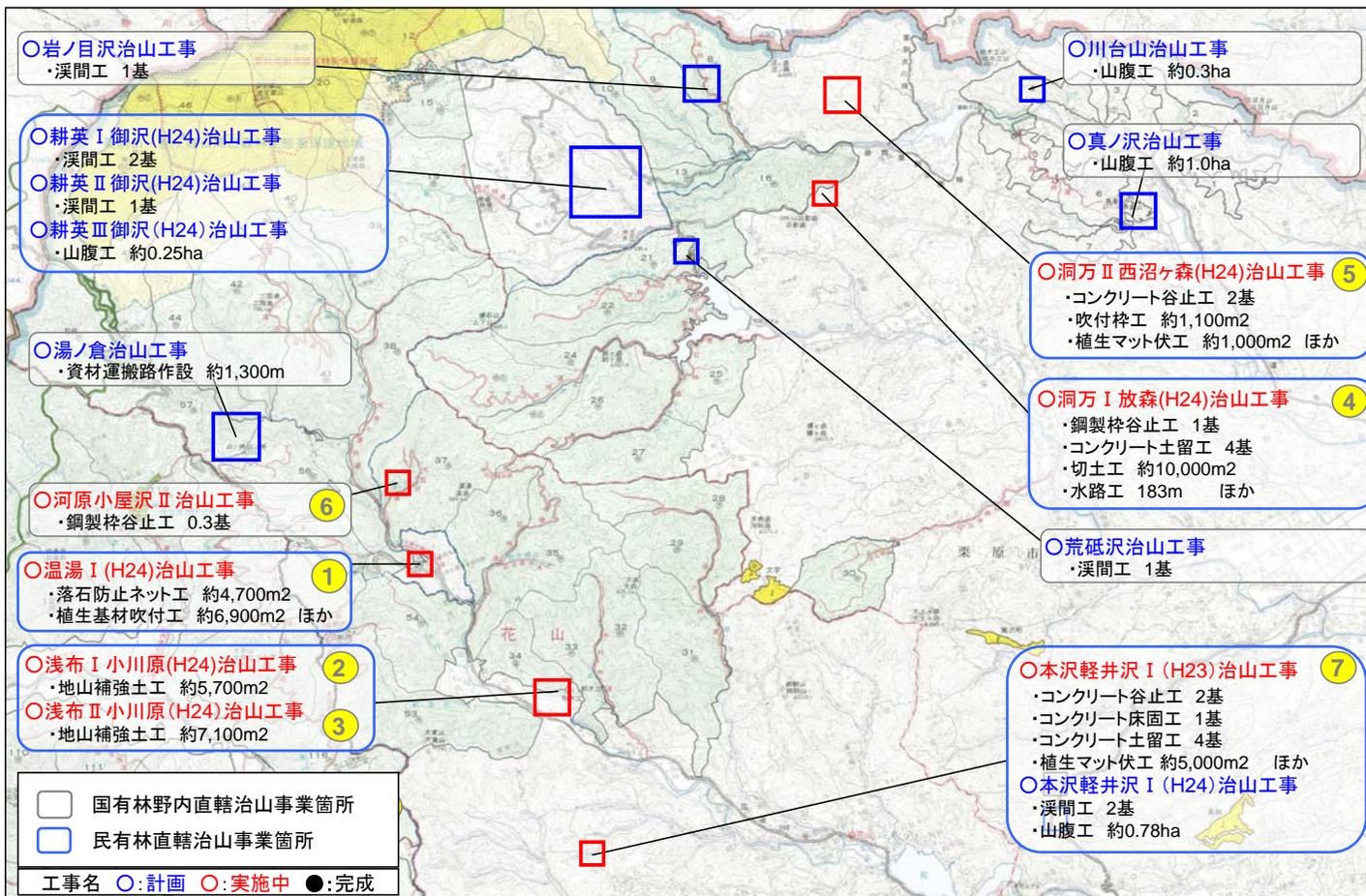


鋼製枠谷止工の組立を行っています。

コンクリート土留工を建設中です。また、コンクリート谷止工の建設準備に着手しました。

- 7 本沢軽井沢 I (H23) [山腹工(コンクリート土留工ほか)、溪間工(コンクリート谷止工ほか)]

平成24年7月撮影



復旧工事を開始しました

- 4 洞万 I 放森 (H24) [準備工]
  - ・7月2日に着手しました。



- 5 洞万 II 西沼ヶ森 (H24) [準備工]
  - ・7月5日に着手しました。

